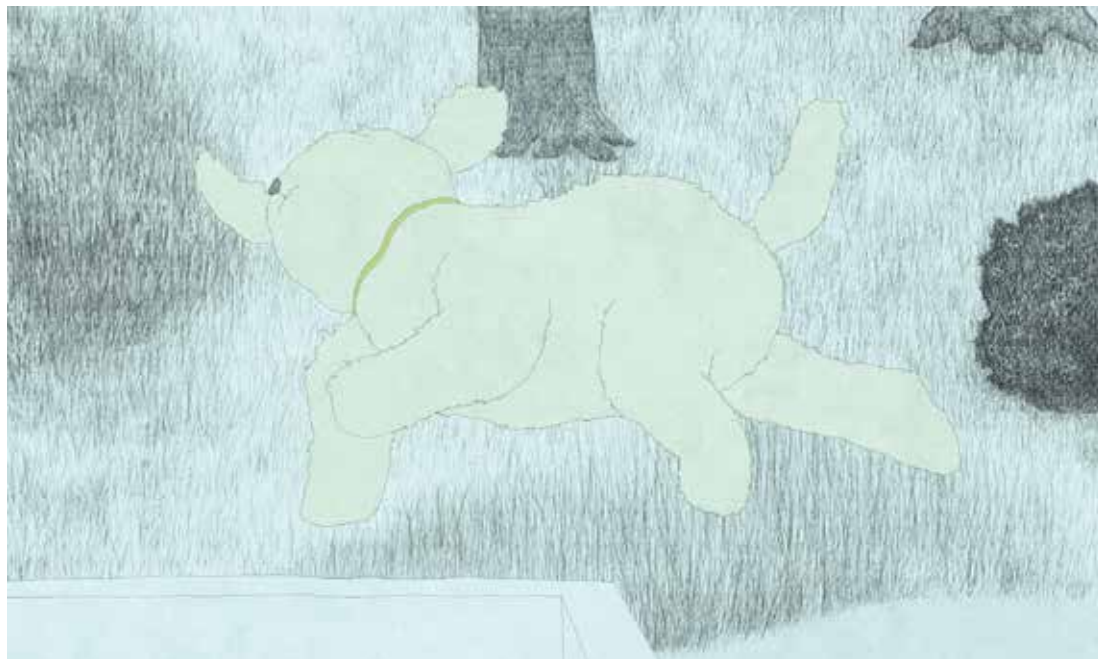


注目作家紹介プログラム チャンネル9 和田淳「私の沼」



1) 和田淳《私の沼》より ©Atsushi Wada

アーティストメッセージ

数年前に子どもが産まれました。子どもがいると創作意欲が湧くと聞いていたのですが、自分でも驚くほどその意欲が湧くことはなく、我が子の似顔絵もほとんど描きませんでした。それから1年と少し経った頃、子どもと散歩していると知らないおばあさんに「いいねえ、未来しかないね」と言われ、少し意欲が湧きました。似顔絵も描いてみました。

それからしばらくした2月か3月に大きい公園を散歩していると沼がありました。その沼の畔にネコヤナギが生えていて、白い毛を持つ穂のような花が大量に風に揺られているのを見て気持ち悪くて綺麗だなと思いました。1ヶ月後もう一度その沼に行くと、もうその花はありませんでした。

息苦しくなるからという理由で昔から目標をたてるのが苦手です。先のこともできれば考えたくありません。わかりもしない未来を想像するよりもっと想像したいことがあると思っています。

ネコヤナギの花言葉は「自由」「気まま」「努力が報われる」だそうです。

「私の沼」楽しんでください。

和田淳

展覧会概要

「注目作家紹介プログラム チャンネル」は、兵庫県立美術館が2010年度より毎年度開催してきたシリーズ展です。担当学芸員がいま最も注目すべきと考える作家を個展形式で紹介。美術館を訪れる人と同時代を生きる美術作家が、さまざまな「チャンネル」を通じ出会う機会となることを目指しています。

9回目となる2018年度の「チャンネル」では、国内外の映画祭で上演し、多くの賞を受賞するなど、高い評価を得ているアニメーション作家、和田淳（わだ あつし・神戸市在住）の個展を開催します。2002年頃から短編アニメーションの制作を始めた和田は、人や動物などさまざまなキャラクターが繰り広げる、諧謔と不思議さに満ちた作品を制作してきました。繊細な線描と透明感のある色彩による絵が、見る人の身体的リズムに呼応するかのように動き、「静」と「動」を反復しながら絶妙な「間合い」や「テンポ」によって進行する構成は、「視覚」のみならず「触覚」をくすぐるような感覚を喚起します。加えて意表を突く視点と展開も和田作品の大きな特色であり、それらは作家の鋭い観察眼と洞察によって拓かれた独自の世界といえます。

本展では、和田淳の独創性あふれる映像世界を紹介、近年ますます関心を集め、拡がりを見せる領域であるアニメーションの魅力に迫ります。



2) 和田淳《私の沼》より
©Atsushi Wada



3) 和田淳《私の沼》より
©Atsushi Wada

開催情報

注目作家紹介プログラム チャンネル9 和田淳「私の沼」

会期 2018年11月3日〔土・祝〕—12月2日〔日〕
開館時間 午前10時—午後6時（金・土曜日は午後8時まで）
休館日 月曜日
会場 兵庫県立美術館 ギャラリー棟1階 アトリエ1
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 TEL:078-262-0901 <https://www.artm.pref.hyogo.jp>
観覧料 無料
主催 兵庫県立美術館
後援 公益財団法人伊藤文化財団
助成 公益財団法人朝日新聞文化財団、公益財団法人中内力コンベンション振興財団



4) 和田淳《私の沼》より
©Atsushi Wada



5) 和田淳《私の沼》より
©Atsushi Wada

和田 淳(わだ あつし) 略歴

- 1980年 神戸市に生まれる
- 2004年 大阪教育大学卒業
- 2005年 イメージフォーラム附属映像研究所卒業
- 2009年 テレビシリーズ『レイナレイナ』で共同監督として参加
長編映画『私は猫ストーカー』でアニメーションパートを担当
- 2010年 東京藝術大学大学院修了
『わからないブタ』制作 文化庁メディア芸術祭など国内外の映画祭で受賞
『春のしくみ』制作 ベネチア映画祭オリゾンティ部門にノミネート
長編映画『ゲゲゲの女房』でアニメーションパートを担当
- 2011年 文化庁新進芸術家海外研修員 イギリス
- 2012年 テレビ『しまじろうのわお!』内、ミニコーナーのアニメーションを担当
『グレートラビット』制作 ベルリン国際映画祭短編部門審査員賞(銀熊賞)など国内外の映画祭で受賞
- 2013年 『Anomalies』制作
ACジャパン全国キャンペーン「やさしさは、想像力でひろがる」のアニメーションとイラストを担当
- 2015年 神戸市文化奨励賞
長編映画『ディアーディアー』でアニメーションパートを担当
- 2016年 兵庫県芸術奨励賞
- 2017年 「和田淳展 私の沼」横浜美術館 開催
東京藝術大学主催「ヴィジュアルディ『四季』映像化プロジェクト」で秋パートを担当
平成29年度メディア芸術クリエイター育成支援事業で企画が採択され、シリーズものの短編作品とゲームを制作(現在制作中)

現在、大手前大学准教授、大阪教育大学、京都精華大学非常勤講師、日本アニメーション協会会員

作家公式ホームページ <http://kankaku.jp/> ※作家の過去作品(予告編)が視聴できます

関連行事

和田淳・作品上映会+アーティスト・トーク

11月11日(日) 13:30~14:30(開場13:00~)

レクチャールーム(定員100名) 参加費無料 事前申込不要 ※兵庫県立美術館芸術の館友の会共催

お問い合わせ先

兵庫県立美術館
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
TEL: 078-262-0901 (代) FAX: 078-262-0903 (代)
<https://www.artm.pref.hyogo.jp>

取材・画像提供に関すること

営業・広報担当

TEL: 078-262-0905 (担当直通) FAX: 078-262-0903

展示内容に関すること

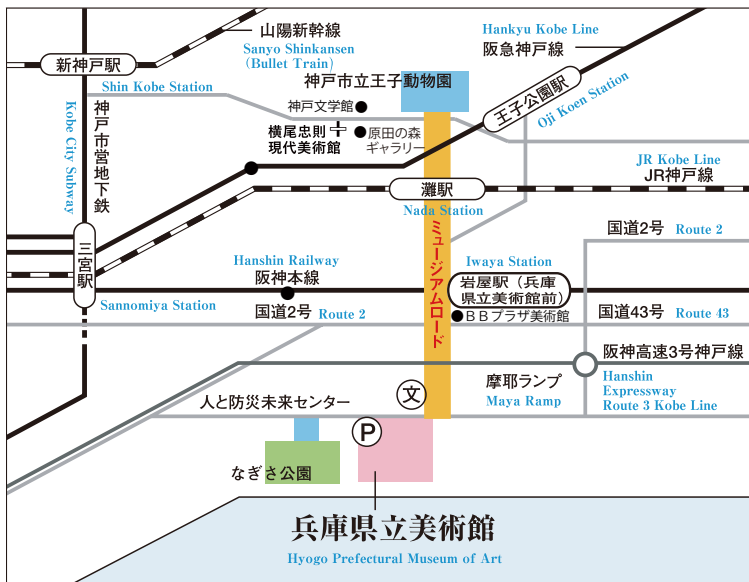
担当学芸員：飯尾由貴子、村田大輔

e-mail: iio@artm.pref.hyogo.jp

TEL: 078-262-0901 FAX: 078-262-0903

【交通案内】

- ・ 阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から南に徒歩約8分
 - ・ JR神戸線灘駅南口から南に徒歩10分
 - ・ 阪急王子公園駅西口から南西に徒歩約20分
 - ・ JR三ノ宮駅南から神戸市バス（29、101系統）阪神バスにて約15分
HAT神戸方面行き「県立美術館前」下車すぐ
 - ・ 地下駐車場（乗用車80台収容・有料）
- *ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください
*団体バスでお越しの場合は、バス待機所のご予約をお願いします。



広報用画像について留意事項

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。末尾の「申込書」をご使用ください。

○作品画像を媒体掲載される際には、「申込書」に記載の作家名・作品名・制作年などを必ず入れてください。

○作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工・改変はできません。

○画像データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません（会期終了まで）。

○再放送、転載など二次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。

○WEBサイトに掲載する場合は、コピーガードを施してください。コピーガード対応が出来ない場合には、別画像（同図版）をご用意しております。別紙「申込書」にチェックのうえ提出願います。

○基本情報、図版使用の確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で「営業・広報担当」までお送り願います。

○展覧会場の取材、撮影をご希望の場合についても、「営業・広報担当」までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。

○本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体（VTR/DVD）、URLなどを、「営業・広報担当」宛てに、1部お送りくださいますようお願いいたします。

広報画像申込書

注目作家紹介プログラム チャンネル9 和田淳「私の沼」

2018年11月3日 [土・祝] —12月2日 [日]

※ご希望の画像の番号に○をつけてください。後日データをお送りいたします。

1	和田淳《私の沼》より	©Atsushi Wada
2	和田淳《私の沼》より	©Atsushi Wada
3	和田淳《私の沼》より	©Atsushi Wada
4	和田淳《私の沼》より	©Atsushi Wada
5	和田淳《私の沼》より	©Atsushi Wada

※上記の画像を媒体掲載されるときには、前頁「広報用画像について留意事項」をご一読ください。

●貴媒体についてお知らせください。

○貴社名：

○媒体名： (新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・ウェブサイト・その他)

※ウェブサイトへ掲載ご予約の場合、いずれかに○をつけてください。 コピーガード対応 可 ・ 不可

○ご担当者名：

○メールアドレス：

ご連絡先 ○電話番号：

○FAX 番号：

○ご住所： 〒

○URL：

○掲載・放送予定日：

○画像到着希望日：